

YCだより

YC(読売新聞販売店)より耳寄りな情報をお届けします。

県内のスポーツ情報も随時掲載致します。

**「ぴよんぴよん」するだけ! お家で楽しく運動不足解消!**

ホップステッパーの構造 子供も楽しくジャンプ 簡単踏み台昇降

本品で20回×3セットジャンプ運動すると  
**16.8kcal消費**

ウォーキング1分間の約**4.9倍**消費カロリーに相当

衝撃吸収 遮音

体圧分散層 弾性クッション層 衝撃吸収層

多層構造の中材で、着地も静かに衝撃も吸収

約4.9倍消費カロリーに相当

20ネイビー 30ピンク

カラーをお選びください(全3色)  
10 ブラウン 20 ネイビー 30 ピンク

体幹ぴよんぴよん **3,960円** (税別)

ホップステッパー

●商品サイズ:幅44x奥行40x高さ15cm ●材質:本体(半弾)ポリエスチル100%(中材)ポリウレタンフォーム、ポリエスチル、縦弾性生地、ポリエステル、綿(防汚加工) ●カラー:全3色  
●耐荷重:約100kg ●重量:約1230g ●洗濯不可 ●原産国:中国 ●画像はイメージ

お申し込みは

**読売通販ねせぱ**

雑誌読売情報開発 YCサポート部  
〒102-8618 東京都千代田区平河町2-13-3

商品のお申し込みは通話料無料のフリーダイヤルで  
**0120-860-432**  
AM9:00~PM8:00(土・日・祝日もお受けします)

**送料無料 宅配便 お客様直送**

企画番号 **5610** 受付締切 **3/24(木)** 商品配送 **2022年4月上旬**

支払方法  
①商品お届けの際に代金と引き換え(手数料無料)  
②クレジットカード(翌月一括払い、リボ払い、分割払い)  
※ご本人名義に限り

●お客様からご提供いただいたお名前、ご住所及び電話番号などの個人情報、株式会社読売情報開発(以下「当社」)とお客様のYC(読売センター)が共同で利用し、商品の届け、集金、お問い合わせへの対応、アンケート調査、各種サービスイベントのお知らせ、新聞の読売通販キャンペーンのご案内等のため、情報の取扱い、情報提供、取扱いの取扱商品のご案内、各記事掲載のほか、当社又はYCが適切と判断した企業のカタログやデジタルメールの送付などに利用させていただく場合があります。なお、お客様の個人情報は、当社及びYCがそれぞれ責任をもって管理します。●返品・交換は商品到着から8日以内にご連絡ください。●返品・交換のご要望は必ず商品到着後3日以内にご連絡ください。●返品・交換は送料お客様負担です。●返品・交換は送料お客様負担です。●返品・交換は送料お客様負担です。●返品・交換は送料お客様負担です。●返品・交換は送料お客様負担です。

**新座で鍛え返り咲きへ** 大会史上最長

**立大**

埼玉県内に練習拠点を置く大学駅伝チームを紹介する「埼玉から箱根への道」。第5回は、1968年以降の箱根駅伝復活出場を目指す立大。新座市から夢の箱根路へ。若い立大ランナーは日々、走り続けている。

**立大**

埼玉から箱根への道

5



選手を指導する立大の上野裕一郎監督(立教大新座キャンパスで)

本真章(新4年)は立教新座中、立教新座高出身。「僕が中学2年の時にセントポール・フィールドは土のトラックでした。雨の日は水たまりができて走れなかった。中学3年の時に全天候型に全面改修され、質の高い練習ができるようになりました。時には徹底的に走り込むこともあります」と上野監督は話す。「荒川、柳瀬川、黒目川の土手など走る場所はたくさんあります。スピード練習はセントポール・フィールドでできる。恵まれた練習環境です」と指揮官は感謝する。

選手も同じ思いだ。22年度の主将を務めるミラー千

27回出場し最高3位

立大陸上競技部 箱根駅伝が始まった1920年に創部。箱根駅伝には34年に初出場し、通算27回出場。57年には3位という最高成績を残したが、68年を最後に半世紀以上、箱根路から遠ざかる。100年超の部史の中で2人の五輪選手が誕生。34~37年に4年連続で箱根駅伝に出場し、37年には10区区間賞に輝いた青地球磨磨は4年時の36年にベルリン五輪800mに出場(予選敗退)。2014年卒業の岡田久美子は16年リオ五輪女子20km競歩16位。昨年の東京五輪でも同種目で15位と健闘した。

待つつもりはない。「今季のチーム目標は箱根駅伝出場です」とミラー主将は全員員の思いを代弁し、力強く話す。

立大が今年10月の予選会を突破し、2023年1月の第99回箱根駅伝出場を果たした場合、1968年以降、55年ぶりの出場となる。それは2009年に33年ぶりの復活出場を果たした青学大を超え、大会史上最長の「返り咲き」となる。箱根駅伝に残るような、大きな花を咲かすため、立大ランナーは今日も新座で走る。(竹内 達明)

**2024年に創立150周年**

2018年11月。立大は2024年の創立150周年記念事業として「立教箱根駅伝2024」をたちあげ、2024年の第100回箱根駅伝で復活出場を目指すことを宣言した。18年12月に中大、エスピー食品などで活躍した上野裕一郎監督(36)が就任。本格的な強化が始まり、20年春以降、有力選手が続々と入学している。

立大は1934年に箱根駅伝に初出場し、通算27回の出場を誇るが、68年を最後に半世紀以上も箱根路から遠ざかっている。毎年10月に行われる箱根駅伝予選会で本戦出場権を獲得する大学

は10校だけ(記念大会は増枠)。上野監督就任以前は30位前後だったが、19年は23位、20年は28位、21年は16位と着実に「箱根への道」を進んでいる。特に前回は最初の5kmを1位で通過。16位という結果以上のインパクトを残した。今でも日本トップレベルの走力を誇る上野監督が練習内容によっては走りながら学生を指導することは立大ならではの強化策だ。

**全天候型のトラック**

練習拠点は新座市。新座キャンパス内には全天候型400mトラックのセントポール・フィールドがある。20年3月には新座キャンパスに隣接した好立地に選手寮が新設された。

選手寮から約7kmの荒川河川敷内には関東圏有数のランニングコースの彩湖がある。「ウォーキングアップで7kmを走り、彩湖で30kmのペース走。また、クルダウンで7kmを走って帰る。時には徹底的に走り込むこともあります」と上野監督は話す。「荒川、柳瀬川、黒目川の土手など走る場所はたくさんあります。スピード練習はセントポール・フィールドでできる。恵まれた練習環境です」と指揮官は感謝する。

選手も同じ思いだ。22年度の主将を務めるミラー千

**読者の声**

さいたま市 K・Hさん(女性)「毎号楽しみに読ませていただいています。岩槻ライターズの活躍はすごいです!」

川口市 A・Yさん(男性)「埼玉中学バレーボール。写真から選手の気迫を感じます。大金を挙げた浦東北はハチマキの気合だっただけでしょう。川口戸塚西も大健闘。これからも我が川口のチームの活躍を期待しています!」

行田市 E・Mさん(男性)「久しぶりにトジボールの記事があって良かった。春が近づいて野球の話が多くなり、楽しみです」

深谷市 H・Hさん(男性)「オミクロン株の拡大でスポーツ活動を制限されるを得ない中、バレーボール、パドミントン、卓球、トジボールなどの大会記事が載り、自宅で筋力や自主練習をしている子供たちの励みになったと思います。頑張ってください!」



▽プロ野球開幕特別号(3月25日)まであと1週間(4000円)

プロ野球開幕(3月25日)まであと1週間となりました。報知新聞社は「プロ野球開幕特別号」を発売しました。プロ野球開幕特別号は、新外国人選手が加わり巻き返しを図るジャイアンツはもちろん、全12球団の開幕直前情報満載の特別号です。10名様にプレゼントします。奮って応募ください。

ご希望の方はハガキに住所、氏名、3月号の面白かった記事、紙面に対する感想を明記の上、〒108-8448 報知新聞東京本社販売局「さいたま報知3月号プレゼント係」までお送りください。締め切りは3月28日(月)必着。当選者の発表は発送をもって代えさせていただきます。お届けは4月上旬以降となります。ご了承ください。